



平成小だより

No. 6



令和8年10月1日 台東区立平成小学校 校長 村上 桂一郎
平成小学校ホームページ <https://www.taito.ed.jp/1310213>

心の多様性と道徳教育

校長 村上 桂一郎

一雨ごとに秋の気配が深まる季節となりました。朝夕と日中の寒暖差が大きく、晴れ間と急な雨が交差するような空模様が続いておりますが、保護者・地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、10月3日(土)には「道徳授業地区公開講座」を開催し、全ての学級において、道徳科の授業を公開します。道徳科は、子供たちが自分自身の生き方を見つめ、社会の中でよりよく生きるための基盤となる心情、態度、判断力等を育むことをねらいとしています。授業を通じて、友達と考えを交流しながら「自分らしさや個性を見つめ、どのように伸ばしていくか」、「人としてどのように生きるか」等について、一人一人が自分の考えを深めていく様子をご覧いただければ幸いです。

ところで、子供たちが向き合う目に見えない「心」について、私たちは日頃どれほど立ち止まって深く想いを巡らせているのでしょうか。

大人も子供も、人の心はひとつとして同じではありません。誰かを思いやる優しさや、正しいことをしたいと思う素直な気持ちがある一方で、時には他者と比較して落ち込んだり、自分の弱さに悩んだりすることもあります。

また、心について深く考えるということは、特別な知識をもつことではなく、「どうして自分はこう感じたのだろう」、「相手は今、どんな気持ちでいるのだろう」と、自分自身や目の前の相手に一歩寄り添って問いかけてみることだと言えます。

そのため、道徳科の授業は、あらかじめ決まった「一つの正解」を見出す時間ではなく、友達のような感じ方・考え方に耳を傾けながら、「自分ならどうするか」、「本当の優しさとは何か」等を自分事として考え、心で感じ取る時間を大切にしています。

子供たちがこれから歩む未来には、すぐには見通しの立たない出来事や、選択に迷う場面が何度も訪れます。その時に子供たちを支えるのは、自分の心と誠実に向き合い、他者を思いやる力です。

ご家庭におかれましても、お子様が道徳科の授業を通じて、どのようなことを感じ、考えたのかを語り合うきっかけにいただければ嬉しく思います。

10月の目標

【生活】 自分や友達を大切にしましょう

【安全】 (交通) バス・電車は安全に利用しましょう (安全) 校外の安全に気をつけましょう

【保健】 目を大切にしましょう

【給食】 良い姿勢で上手な食べ方をしましょう

霧ヶ峰移動教室

5年生は、9月24日から2泊3日で霧ヶ峰移動教室へ行きました。

1日目は、鷹山ファミリー牧場にてトラクター乗車体験とバーベキュー、アイス作り体験をしました。大きく揺れながら移動するスリル満点なトラクター体験を楽しみ、バーベキューやアイス作り体験では、子供たちの協力し合う姿が素晴らしかったです。夜のキャンプファイヤーでは、練習してきたダンスを踊り、みんなで心を一つにして楽しみました。

2日目の午前は、紙漉きうちわ作り体験をしました。自分で紙漉きをして作ったうちわに絵を描き、オリジナルのうちわを作りました。午後は、黒曜石体験ミュージアムにて黒曜石等を削る体験をしました。一人一人が真剣に、つやを出したり、形にこだわったりしながら作品を仕上げました。夜のナイトウォークでは、あまりの暗さや静けさに驚きつつ、台東区との違いを感じていました。

3日目は群馬サファリパークへ行きました。日常では得られない経験を楽しんでいました。

3日間を通して、徐々に子供同士の声掛けが増え、早めに行動しようとする姿に大きな成長を感じました。

【5年担任：柳 祐三恵】



校内研究の成果と課題

今年度も引き続き算数の研究を進めています。研究主題を

「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた算数の授業改善

～捉える・できる・分かる児童の育成を目指して～

として、研究3年目になりました。教職員の授業力向上を目指し、全教職員が一つのクラスの授業を見て、授業について協議をする校内の研究授業を年4回行います。

昨年度の研究を終え、得られた課題は「さまざまな児童の考えを全体で共有すること」と「図、式、言葉を使って説明すること」でした。児童のアンケートや学力調査の結果からも、「説明を必要とする問題の正答率が低いこと」が課題として挙がりました。今年度は、この2点の改善を目指し研究を進めています。

6月には、3年生の研究授業が行われました。

「たし算・ひき算の筆算」の単元で、タブレットの操作をしながら考え、自分の考えを友達に伝え合う様子や、考えたことをペアや全体の前で説明する姿が見られました。低学年、高学年もできるようにしていきたいです。

